

「乾かない万年筆」として発売から 15 年。性能を 50%以上アップした 「#3776 センチュリー Ver. 2.0」誕生！

通常、社内のみで使用される透明モデルを数量限定で一般販売いたします。

プラチナ万年筆株式会社(本社：東京 社長：中田俊也)は、乾かない万年筆として誕生した「#3776 センチュリー」は発売から 15 周年を迎えました。これを記念し、性能を 50%以上アップした進化モデル「#3776 センチュリー Ver.2.0」を発売します。

1978 年、理想の万年筆を目指して誕生した「#3776」から、このブランドの歴史は始まりました。2011 年には万年筆の弱点であるインクの乾燥を防ぐ独自のスリップシール機構を搭載した「#3776 センチュリー」が誕生します。それから 15 年、更なる進化を求めて細部の設計を見直し、スリップシール機構の性能を 50%以上アップさせた「#3776 センチュリー Ver.2.0」が完成しました。気密性能は飛躍的に高まり、従来モデルでは約 2 年だった放置可能期間が、新モデルは約 3 年間まで延長。メンテナンス不要でインクの水分蒸発を限りなく抑え、いつまでも新鮮なインクによる、書き味が変わらない筆記体験を実現します。現行モデルからの性能向上は 50%以上。それは 2 泊の旅が 3 泊になるような、ゆとりある時間をお楽しみいただけます。

今回、機能解説用の社内向けモデルを特別に一般販売するのは限定数 2,000 本となります。

#3776 センチュリー Ver.2.0 デモンストレーター

- 販売本数：世界 2,000 本限定
- 発売日：2026 年 2 月 5 日
- 品番：PNB-450
- 価格：49,500 円(税込)
- 軸色：#6 プリズムクリスタル
- 商品仕様

<サイズ> 全長 139.5mm× 最大径 15.4mm 重量 20.0g

<素材> 樹脂：胴・鞘・グリップ・天飾・尾飾

金属：クリップ・クリップリング・金輪・天輪・尻輪

ペン先：14 金ペン(F 細字、M 中字、B 太字)

- 付属品 カートリッジインク(ブルーブラック)1 本
コンバーター -800A

[報道関係者お問合せ先]

TEL 03-3835-4530 FAX 03-3835-8657

[商品に関する消費者お問合せ先]

お客様相談係 TEL 0120-875-760

■ インクを乾燥させないために、全ての設計を見直しました。



インク残量が見やすくなった胴軸

内部の透過を高めるために、内面設計をフラットに変更しました。反射を抑えられた内面になり、インクの残量が確認しやすくなりました。



気密性が向上した首軸

気密性を向上させるため首軸を改良しました。接合部にはラバーリングを設け気密性を強化。筆記時の首軸と胴の緩み防止も強化しました。



シンプルになった天冠設計

「スリップシール機構」の設計を見直すことにより、天冠内に露出していたナットがなくなり、透明度の高いすっきりとした空間を設けることができました。



安定した筆記に貢献するカバー

カバーの構造を見直すことによって強度とメンテナンス性が向上しました。これによって更に安定した筆記が可能となりました。



リニューアルされたペン先刻印

ペン先刻印のデザインを一新しました。初代 #3776 から継承する富士山をモチーフにした刻印を現代的に磨き上げ、信頼と品格を受け継ぎながら、より洗練された表情へ仕上げました。



シリアルナンバー

天冠に刻まれたシリアルナンバーは一本ごとに管理される品質の証であり、唯一無二の存在感をお楽しみいただけます。

■「#3776」の歴史

1978 年

Platinum
#3776



作家、脚本家として活躍し、万年筆愛好家としても有名な故 梅田晴夫氏を中心に「理想の万年筆」を目指して開発。富士山の標高 3776m を商品名に取り入れ、美しい日本文字のための万年筆を完成させました。



2011 年

#3776 CENTURY



「#3776」をより熟成させるべく5年の歳月をかけてフルモデルチェンジ。スムーズなインクフローの新ペン先、インクの乾燥を防ぐ「スリップシール機構」を搭載。培われた伝統と技術の集大成として「#3776 センチュリー」が誕生しました。



2026 年

#3776 CENTURY Ver.2.0
DEMONSTRATOR



「#3776 センチュリー」誕生から15年、更なる進化を追求し細部の設計を見直すことにより、性能も大幅に向上した「#3776 センチュリー Ver.2.0」が誕生します。

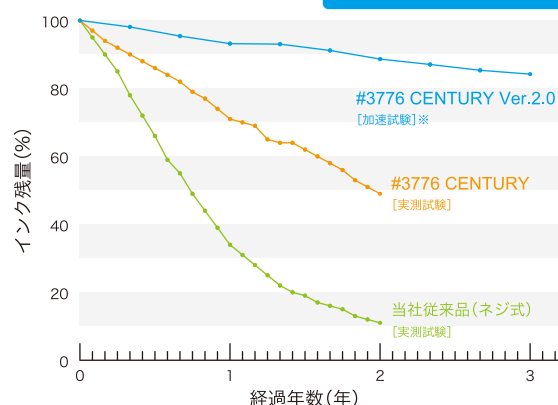
■「#3776」ブランド誕生から 48 年。更なる進化が完成しました。



スリップシール機構の進化

インクの乾燥を防ぐ「スリップシール機構」を見直し気密性能が、従来約 2 年間に約 3 年間に期間を延ばすことに成功しました。今まで以上に新鮮なインクをお楽しみいただけます。

インク残量の推移



50% UP!

【結果】#3776 CENTURY と #3776 CENTURY Ver.2.0 のインク残量を比較すると「スリップシール機構」の性能が従来約 2 年間に約 3 年間に約 50% 以上アップしたことがわかりました。まるで 2 泊の旅が 3 泊になったように、ゆとりある時間をお楽しみいただけます。

【加速試験測定方法】カートリッジインク（ブルーブラック）を装着し、キャップを締め横置きにして室温 50℃、湿度 40% の環境にて 9 週間の加速試験を行い、1 週間ごと重量を測定します。9 週間の試験は 3 年間に相当します。

【実測試験測定方法】カートリッジインク（ブルーブラック）を装着し、キャップを締め室温（冷暗所）で横置きにして放置し、1 ヶ月ごと重量を測定します。

※ 加速試験結果は実測試験結果と異なる場合があります。